

「北九州市水道事業検討会」について

1 目的

中期経営計画の各事業を着実に推進するとともに、堅実な事業運営を行うため、下記の事項について、外部の視点からの客観的・専門的な助言や意見を頂き、事業運営の参考とする。

- (1) 中期経営計画の進捗管理（PDCA）
- (2) 主な事業の取組状況など

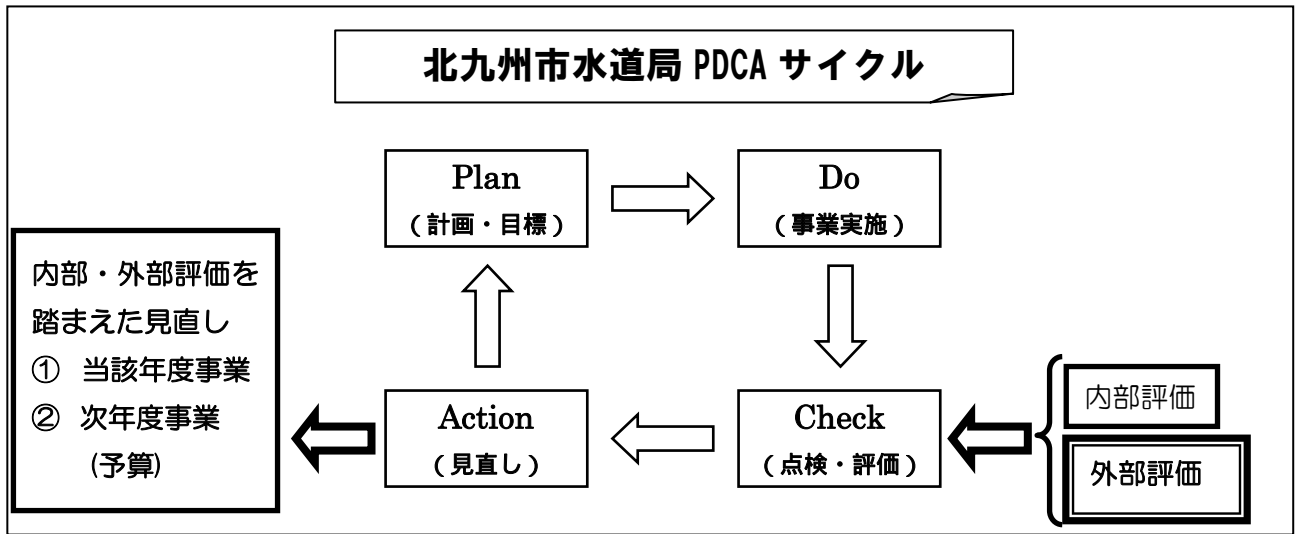
2 会議内容（平成23年度）

名 称	時 期	会議内容
第1回 北九州市水道事業 検討会	8月24日 (水)	<ol style="list-style-type: none">1 中期経営計画の進捗管理（PDCA）について2 平成23年度予算及び主な事業の取組状況について<ol style="list-style-type: none">① 平成23年度上水道事業会計予算及び主要事業② 震災対策③ 有収率向上対策④ 水道用水供給事業⑤ 海外水ビジネス事業⑥ 北九州水道100周年記念事業
第2回 北九州市水道事業 検討会	2月上旬	<ol style="list-style-type: none">1 前回討議内容の対応について2 平成22年度決算及び主な事業の取組状況について<ol style="list-style-type: none">① 平成22年度上水道事業決算② おいしい水対策（案）③ 大口使用者特割制度（案）④ 環境負荷の低減（案）

◆中期経営計画の進捗管理（PDCA）

中期経営計画の進捗管理は、PDCAサイクルを用いて内部及び外部評価

- (1) Plan【計画・目標】：中期経営計画に基づき各事業の目標を設定
- (2) Do 【事業実施】：目標の実現に向け事業を推進
- (3) Check【点検・評価】：事業の進捗を把握し内部及び外部評価を実施
- (4) Action【見直し】：内部・外部評価を踏まえた事業を見直し改善策を策定
当該年度事業及び次年度事業（予算）に反映。



◆進捗管理のスケジュール

年度	月	前年度評価 (22年度)	当該年度評価 (23年度)	次年度評価 (24年度)
22年度	3月	□ 前年度事業の実施		
23年度	4月	□ 前年度事業評価 (内部評価)	□ 当該年度事業の実施	□ 次年度の計画・ 予算策定
	7月			
	8月			
	1月	□ 見直し報告	□ 事業実施	
	2月	□ 第2回事業検討会		
	3月	□ 第1回事業検討会 (外部評価)		
24年度	4月			

◆中期(前期)経営計画実施事業の達成及び進捗状況

評価：…達成または概ね達成 ×…未達成
 方向性：ア…完了 イ…継続 ウ…強化する事業

施策目標 (6つの施策目標)	重点施策 (20施策)	実施事業 (46事業)	評価	方向性	
1 お客さまが安心しておいしく飲める水道	1-1 水源水質の汚濁防止の推進	遠賀川の水源水質改善		ウ	
		水源林の保全		イ	
	1-2 水質管理体制の強化	水道GLPの活用		イ	
		カビ臭対策(水質基準の遵守)		イ	
	1-3 鉛給水管対策	クリプトスポリジウム対策(葛牧浄水場の取水場化)		ア	
		鉛給水管取替事業		イ	
	1-4 貯水槽水道対策	貯水槽水道の適正管理		イ	
		直結式給水の普及促進		イ	
2 いつでも安定して供給できる水道	2-1 事故・災害に強い水道	水道トライアングル構想の実現	×	イ	
		新若戸道路水道連絡管整備	×	イ	
		震災対策		ウ	
		木下～井手浦導水管2条化整備		ア	
		配水管理システムの有効活用		イ	
		福岡都市圏との連携		ア	
		近隣市町との連携		ウ	
	2-2 経年劣化の著しい施設の更新	浄水場施設更新		イ	
		導水管・送水管更新		イ	
		配水管更新		ウ	
	2-3 危機管理体制の構築	配水池更新		イ	
		事故対応能力の向上		イ	
	3 安価な料金を維持する水道	3-1 事業運営の効率化	テロ対策		ア
			断水業務の一部見直し		ア
浄水場点検委託の見直し				イ	
公共工事のコスト縮減				イ	
3-2 施設の効率的な維持管理		水道施設の有効活用		ウ	
		維持管理体制の整備		イ	
		有収率向上対策	×	ウ	
3-3 広域化の推進		配水管理システムの有効活用(再掲)		イ	
		水質管理の広域化		イ	
3-4 民間的経営手法の活用		近隣市町との連携(再掲)		ウ	
		民間的経営手法等の活用		ア	
3-5 水道技術の継承	水道技術者の育成と活用		イ		
4 お客さまに親しまれる水道	4-1 より便利で迅速なサービスの提供	コールセンターの機能拡充		イ	
		インターネットを活用したサービスの迅速化	×	イ	
		サービスマインドの向上		イ	
	4-2 積極的な情報公開とお客さまニーズの把握	積極的な情報提供		イ	
		お客さまの声の集約化		イ	
		その他(ホームページ関連)		イ	
	4-3 市民との協働	水道事業への理解者の拡大と市民との協働		ウ	
5 環境保全・省エネルギー対策を推進する水道	5-1 環境保全への取り組み	水力発電の導入		イ	
		浄水汚泥及び建設副産物の有効利用		イ	
5-2 省エネルギー対策の実施	省エネルギー対策		イ		
6 世界に貢献する水道	6-1 水道技術の国際貢献	カンボジア水道人材育成事業		イ	
		大連市水道公社との技術交流		イ	
	6-2 本市独自の国際支援策	国際貢献を通じた水道技術の継承と人材育成		イ	
水道創設100周年に向けた事業	水道創設100周年に向けた事業	水道の国際技術協力部門の創設		ウ	
		水道創設100周年記念事業		イ	

2 事業目標の実施状況

項 目		事業数
◎	達成または概ね達成	42
×	未 達 成	4
計		46

3 目標が未達成な事業

個別事業	具体的な目標	目標年度 目標水準	進捗状況	未達成理由
水道トライアングル構想の実現	事故発生時に安定給水が可能な人口	H22 約79万人	H22:約60万人 H24年度供用開始	本体事業の新若戸道路事業の完成が平成24年度となったことによるもの
新若戸道路水道連絡管整備	水道連絡管整備	H22 完了	H22:進捗率82.5% H24年度供用開始	本体事業の新若戸道路事業の完成が平成24年度となったことによるもの
有収率向上対策	有収率	H22 88.3%	H22:86.5%	近年の人口減少や節水機器の普及、リーマンショック等の影響による有収水量の減少及び老朽化した給水管からの漏水量の増加によるもの
インターネットを活用したサービスの迅速化	新サービス導入	H21 実施	他都市の状況調査・検討の継続実施	他都市調査の結果、導入している都市が少なく利用実績も僅かであるなど、お客さまサービスの向上が見込めないため、導入を見送ったもの

4 今後の方向性

項 目		事業数
ア	完 了	6
イ	継 続	32
ウ	強化する事業	8
計		46

5 強化する事業

個別事業	前期経営計画の取組内容	強化する取組内容
遠賀川の水源水質改善	<ul style="list-style-type: none"> ・水源浄化啓発事業の実施 ・流域下水道整備の普及促進要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・流域市町村全体で水質保全の共通条例等の制定 ・流域環境保全団体への支援の実施
震災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大谷配水池の耐震化 ・非常用給水設備の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水施設、応急拠点配水池、基幹管路の耐震化 ・緊急遮断弁の整備
近隣市町との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・香春町との技術協力 ・近隣市町との応援協定締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・分水解消の検討（水巻町、岡垣町） ・新たな広域連携（東部地域、宗像地域、遠賀川流域など）の検討
配水管更新	<ul style="list-style-type: none"> ・配水管更新延長：40km/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・配水管更新延長：50km/年
水道施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用地処分の促進 ・駐車場の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな活用策（看板広告など）の検討、推進 ・市民農園の開設
有収率向上対策	<ul style="list-style-type: none"> ・低有収率ブロックの漏水調査 ・高水圧地区の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点箇所の漏水調査（成果主義） ・簡易漏水調査の実施
水道事業への理解者の拡大と市民の協働	<ul style="list-style-type: none"> ・年間水道モニター事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日水道モニターの創設 ・浄水場の市民開放の促進
水道の国際技術協力部門の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・国際技術部門の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外水ビジネスの展開（ビジネスモデルの構築など）

6 経営目標の実施状況

項目	目標値	取組結果（見込み）
現行料金	維持	H21年4月に料金値下げ（▲1.8%）
資金の確保	H22末：50億円	H22末：約71億円（建設改良基金含む）
企業債残高の削減	H22末：30億円（対H17比）	H22末：約78億円（対H17比）

平成23年度 上水道事業会計予算の概要
〔水道事業〕

(単位:百万円)

項 目		23年度当初予算 (A)	22年度当初予算 (B)	差引(A) - (B)
業 務 量	給水量 (千m3)	119,423	119,488	65
	有収水量 (千m3)	105,321	105,147	174
	有収率 (%)	88.2%	88.0%	0.2%
収 益 的 収 支	収 入	(18,487)		
		18,512	18,531	19
	営業収益	18,174	18,213	39
	うち料金収入(原水除く)	15,950	16,018	68
	営業外収益等	338	318	20
	支 出	(17,933)		
		18,021	18,041	20
	営業費用	15,727	16,018	291
	うち人件費	3,302	3,379	77
	うち維持管理費	2,809	3,034	225
	営業外費用等	2,294	2,023	271
	うち企業債利息	1,564	1,633	69
	収支差引 (-)	(554)		
	491	490	1	
資 本 的 収 支	収 入	4,350	4,502	152
	うち企業債	3,157	3,167	10
	支 出	12,344	11,595	749
	うち施設費(建設利息を含む)	8,599	7,838	761
	うち施設整備費	6,628	6,068	560
	うち企業債償還金	3,686	3,734	48
	差引過不足 (-)	(8,043)		
	7,994	7,093	901	
補填財源		(7,874)		
	7,811	7,132	679	
資 金 収 支	単年度 (+)	(169)		
		183	39	222
累積(基金含む)		(6,766)		
	6,752	6,916	164	
企業債残高 (北部福岡緊急連絡管事業分を除く)		(59,990)		
	60,484	60,862	378	

()内は後期中期経営計画の計画額

平成23年度 水道局予算 主要事業

(1) お客さまが安心しておいしく飲める水道

さらに安全でおいしい水をお届けできるよう、水質の向上に取り組みます。

拡充 ■ 遠賀川の水質改善対策 7,000千円
 主要水源である遠賀川の水質改善に向け、水質汚濁負荷原因の調査とその対策を検討します。

拡充 ■ 残留塩素低減化対策 15,000千円
 浄水場での塩素注入削減や配水池などでの追加塩素方式を組み合わせた残留塩素の低減化の方策を検討します。

(2) いつでも安定して供給できる水道

自然災害や漏水事故を未然に防ぐ対策として、経年劣化した水道施設の更新や耐震化を実施するとともに、これらが発生した場合でも安定した給水体制を確保するため、バックアップ機能の強化などに取り組みます。

拡充 ■ 老朽管更新事業 3,659,300千円
 経年劣化が進んでいる配水管・導送水管を計画的に更新するとともに、重要な管路を耐震化します。

・ 配水管更新	L=50km	3,000,000千円
・ 導送水管更新	L=3.2km	659,300千円

拡充 ■ 震災等対策整備事業 1,180,524千円
 新若戸道路水道連絡管整備や小森江系送水管2条化整備など、災害等の発生時でも給水に支障のない施設整備を進めるとともに、耐震化を計画的に実施します。

- ・ 震災対策整備事業 317,392千円
 浄水施設・配水池等水道施設の耐震診断や耐震化工事等
- ・ 新若戸道路水道連絡管整備事業 313,732千円
 送水管 L=1,283m
- ・ バックアップ機能の強化対策 519,400千円
 小森江系送水管 L=1,000m 239,000千円
 堀越ポンプ場内送水管等 L=147m 150,000千円 など
- ・ 災害対策整備事業 30,000千円

(3) 安価な料金を維持する水道

新規 ■ 水道施設再構築プランの策定 15,000千円
 広域を含めた将来水需要に見合う施設規模への検討を進めます。

- ・ 長期水需要予測業務委託
- ・ 浄水場施設カルテ作成業務委託

(4)お客さまに親しまれる水道

継続	■北九州水道100周年記念事業 ～これからもずっと、水が使える安心を～ 平成23年度が本市水道開設100周年に当たることから、記念事業等を通じて、お客さまに水道の果たす役割や重要性について理解を深めていただき、水道事業のさらなる発展につなげます。 ・北九州水道ウィークの開催（記念式典・日本水道協会第80回総会等） ・記念モニュメント（ウォーターハウス）の設置 ・水道展示コーナー（水環境館）の開設	55,667千円 など
----	--	----------------

(5)環境モデル都市を推進する水道

低炭素社会の実現のため、エネルギー消費や環境負荷の少ない事業運営を目指します。

新規	■水道“エコ”キャンペーンの展開 “環境負荷の少ない水道”をPRするとともに、水道を使ったエコへの具体的な取り組みを提案・推進します。 ・市民農園の開設、壁面緑化の推進、クールミストの普及促進	6,600千円
継続	■太陽光発電設備設置事業 配水池などの水道関連施設に太陽光発電設備を設置し、再生エネルギーの活用によりCO2を削減します。 ・永犬丸・丸山配水池 2箇所	20,000千円
継続	■省エネルギー対策整備事業 送水ポンプを適正規模に更新することや配水ブロックの改善により、エネルギーロスを減らし消費電力を削減します。 ・送水ポンプ更新 設計 5,000千円 ・配水ブロック改善 設計・工事 25,000千円	30,000千円

(6)世界・地域に貢献する水道

継続	■水道用水供給事業 平成23年度から、宗像市など3市1町へ水道用水を供給する水道用水供給事業を開始します。平成23年度は宗像市と新宮町に供給します。	708,210千円
拡充	■水道事業の広域化 新たな広域連携を推進するため、周辺自治体など関係機関と検討を進めます。	2,781千円
拡充	■海外事業の展開 ベトナム・ハイフォン市、カンボジア、中国・大連市等において、技術協力・人材育成に貢献するとともに、ミッション団を派遣し海外水ビジネスの具体的な案件形成に向けた取り組みを着実に推進します。 また、本市がこれまで培ってきた環境技術を活用して、カンボジア・プノンペン市の水道事業から排出されるCO2を削減します。	26,305千円